

## プロジェクト23 競争力の高い産業の創出・育成

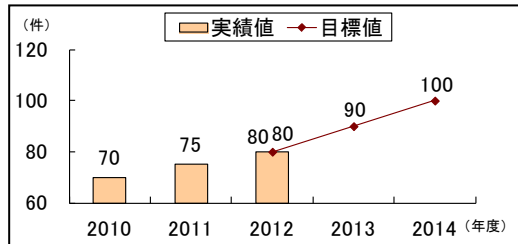
産 政

## プロジェクトのねらい

- 成長産業の集積による県内産業の活性化
- 海外市場も視野に入れた競争力の強化
- 技術連携の活発化による中小企業の技術力向上
- 産業競争力を支える科学技術の振興

## 数値目標の達成状況

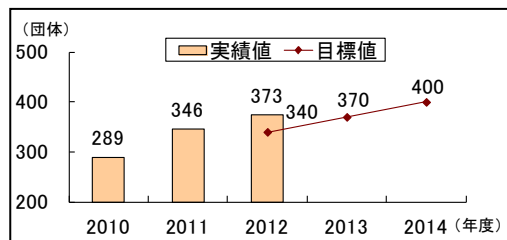
## ◆ 神奈川発独創的技術の開発件数 (産業技術センター調査)



【2012年目標値】 80件 → 【実績値】 80件 【達成率】 100.0%

- 2012年の達成率は100.0%となっています。
- これは、景気が低迷しているなかで、企業が技術開発に意欲的に取り組んだことによるものです。

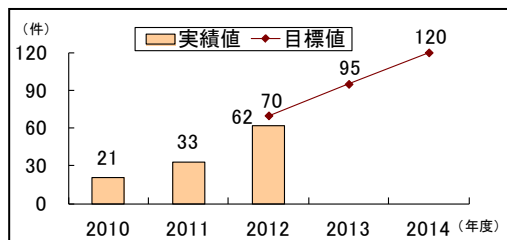
## ◆ 産学公ネットワーク構成メンバー数 (産業振興課調査)



【2012年目標値】 340団体 → 【実績値】 373団体 【達成率】 109.7%

- 2012年の達成率は109.7%となっています。
- これは、ライフサイエンス及び環境・エネルギー関連分野の各ネットワークで、新メンバーの発掘や連携促進のコーディネート活動を活発に展開したことによるものです。

## ◆ 企業誘致件数(累計) (産業立地課調査)



【2012年目標値】 70件 → 【実績値】 62件 【達成率】 88.5%

- 2012年の達成率は88.5%となっています。
- これは、2012年の誘致件数は増加したものの、昨年までの投資低迷の影響によるものです。

## 2012年度の主な取組みと成果

## ① 県内企業の技術高度化・国際化支援

- 中小企業と大企業との技術連携の促進
  - 産業技術センターによる技術相談など(18,306件)、神奈川R&D推進協議会による研究会・フォーラム・展示会等の開催(21回)
- 中小企業の海外事業展開に向けた支援
  - 民間金融機関等と「県内中小企業の海外展開支援に関する協定」を締結
  - 国別投資環境や海外進出セミナーの開催(6回)、商品モニタリング調査、県内企業PR冊子の作成
- 京浜臨海部コンビナートの高度化などの推進
  - 検討会議を開催し(2回)、企業間連携による生産活動の効率化や省エネなどについて検討

## ② 成長分野の起業促進

- ・ 起業プロジェクトの事業立ち上げ支援と産学公ネットワークの拡充・強化  
→ 有望な起業プロジェクトの認定、支援（9件）

## ③ 企業誘致による研究開発機能の集積促進

- ・ 「インベスト神奈川2ndステップ」による研究開発機能の集積  
→ 支援事業認定に係る投資額要件を引き下げ、企業誘致を促進（29件）
- ・ 海外プロモーションなどによる外国企業の誘致  
→ 現地ビジネスセミナーや展示会における個別企業面談など、誘致プロモーション活動の展開

## ④ 科学技術の重点的研究の推進

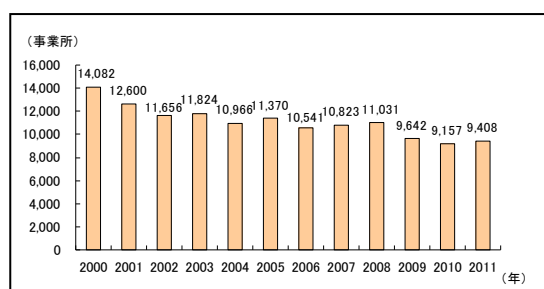
- ・ 大学、企業、研究機関などと連携した科学技術の重点的研究の推進  
→ 神奈川科学技術アカデミー（KAST）（12課題）、県試験研究機関（5課題）

## 県民ニーズの動向

「県内の企業、大学、研究機関などが技術連携や共同研究を活発に進めること」を重要だと思う人の割合（県民重要度） ⇒ 58.4%

## その他社会環境を表す指標

### ◆ 県内製造業の事業所数（神奈川県工業統計調査、経済センサス-活動調査）



- ・ 県内の製造業の事業所数は、2009年に10,000事業所を割り込むなど、減少傾向にあります。
- ・ 近年における中小企業をとりまく環境は、産業構造の転換、経済のグローバル化の進展など大きく変化しつつあります。

## 主な取り組みや統計データに関する情報

- ・ 神奈川県中小企業活性化推進計画  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6166/>
- ・ インベスト神奈川2ndステップ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6852/>
- ・ 神奈川県産業技術センター  
<http://www.kanagawa-iri.go.jp/>
- ・ かながわサイエンスインフォメーション  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4898/>
- ・ (公財) 神奈川科学技術アカデミー (KAST)  
<http://www.newkast.or.jp/>
- ・ かながわサイエンスパーク (KSP)  
<http://www.ksp.or.jp/sciencepark/>
- ・ 経済センサス  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100363/>

## 総合分析

プロジェクト全体としては、概ね順調に進んでいます。

- ・ 独創的技術の開発件数、産学公ネットワーク構成メンバー数は、目標を達成しました。
- ・ 企業誘致件数は目標値を下回りましたが、企業の投資意欲に回復の兆しがあり、誘致件数の増加傾向が見られます。
- ・ 県の科学技術政策大綱に基づき、産学公による先端的かつ出口を見据えた研究が進められています。
- ・ 県内企業、大学等による技術連携の推進に関する県民重要度は、半数を超えています。
- ・ 製造業の事業所数が減少するなど、中小企業をとりまく環境は大きく変化しており、変化に対応した支援が必要です。

⇒ 数値目標は3項目中2項目で達成しており、企業誘致件数の増加傾向が見られるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。

## 今後の課題と対応方向

### ④ 成長産業の集積による県内産業の活性化

- ・ ライフサイエンスや環境・エネルギー関連分野の起業促進が課題  
→ 引き続き産学公ネットワークを拡充・強化することで、起業化を支援
- ・ 企業誘致によるさらなる成長産業の集積が課題  
→ 総合特区等において誘致支援施策を充実し、先端的な産業の集積を促進

### ④ 海外市場も視野に入れた競争力の強化

- ・ 県内企業の円滑な海外事業展開、外国企業の誘致が課題  
→ 県内企業の海外事業展開支援、外国企業の本県誘致の取組みを一層強化

### ④ 技術連携の活発化による中小企業の技術力向上

- ・ 自社技術を効率的効果的に製品化するための外部との技術連携が課題  
→ 企業等が幅広く参加し資源を最適に組み合わせ研究開発を促進する仕組みを構築

### ④ 産業競争力を支える科学技術の振興

- ・ ライフサイエンスなどの先端的分野の研究の推進及び企業への成果展開の促進が課題  
→ 国際戦略総合特区におけるKASTの研究の推進及び企業への成果展開  
→ 県試験研究機関での試験研究、技術相談等の充実による企業支援の推進

## 総合計画審議会の二次評価



**概ね順調に進んでいます**

- ・ 様々な社会的ニーズを丁寧に捉え、新しいアプローチや見直しを行いながら、ビジネスが活発に行われる環境づくりを進めることが重要です。
- ・ 持続可能な雇用機会を提供できるよう、成長産業の育成・集積が重要です。



## プロジェクト24 産業人材の育成と就業支援の充実

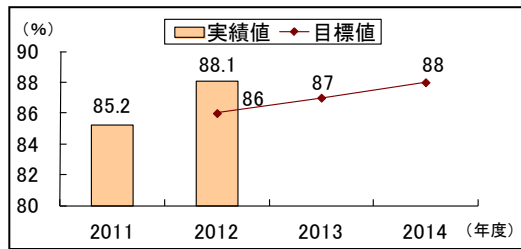


### プロジェクトのねらい

- 👉 産業を支える人材の育成
- 👉 一人ひとりの希望に応じた就業の促進
- 👉 誰もが働きやすい環境づくり

### 数値目標の達成状況

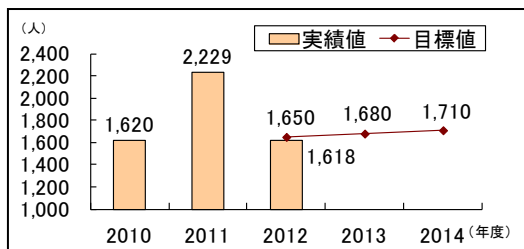
#### ◆ 職業技術校生の修了1年後の就職率 (産業人材課調査)



【2012年目標値】 86%    【実績値】 88.1%    【達成率】 102.4%

- ・ 2012年の達成率は102.4%となっています。
- ・ これは、一人ひとりの状況に応じた就職支援により、多くの技術校生の就職が実現したことによるものです。

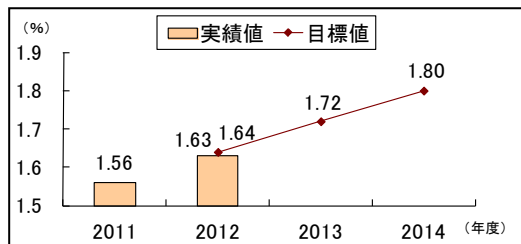
#### ◆ かながわ若者就職支援センターで就業支援を受けた人の進路決定者数 (雇用対策課調査)



【2012年目標値】 1,650人    【実績値】 1,618人    【達成率】 98.0%

- ・ 2012年の達成率は98.0%となっています。
- ・ これは、国との役割分担を見直し、国の新卒応援ハローワークが学生と既卒3年以内の若者に特化して支援を行うこととなった結果によるもので、両支援施設の合計では目標値を達成しています(3,494人)。

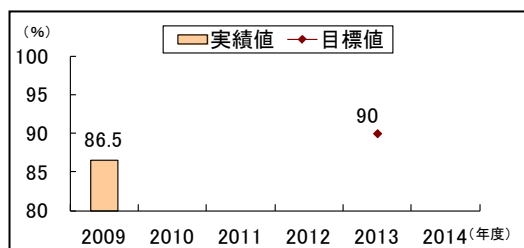
#### ◆ 障がい者の雇用率 (厚生労働省障害者雇用状況報告)



【2012年目標値】 1.64%    【実績値】 1.63%    【達成率】 99.3%

- ・ 2012年の達成率は99.3%となっています。
- ・ これは、障害者就労相談センター等による障がい特性に応じたきめ細かな就業支援によるものです。

#### ◆ 従業員100人以下の事業所に勤務する女性の育児休業取得率 (働く環境に関する事業所調査)



【2012年目標値】 -    【実績値】 -    【達成率】 -

- ・ 2012年の目標値が設定されていないため、達成状況をお示しできません。

## 2012年度の主な取組みと成果

### ① 企業や求職者のニーズに応じた人材育成

- ・ 職業技術校などにおける職業能力開発や就職支援
  - 職業技術校における求職者等の職業能力開発や産業技術短期大学校における実践技術者の育成など（受講者9,811人）
- ・ 西部総合職業技術校の整備
  - 西部総合職業技術校の施設整備が完了し、2013年4月開校
- ・ 未来を拓く科学技術人材の育成
  - 企業の研究者や技術者などを対象に大学院レベルの高度な教育講座を実施（26講座、受講者数915人）

### ② 就業支援の充実

- ・ キャリアカウンセリングやセミナー、相談などによる就業支援
  - 横浜STビル内の県、国、横浜市の各就業支援施設の連携を強化し、「かながわ総合しごと館スマイルワーク」をスタート
  - 「かながわ若者就職支援センター」及び「シニア・ジョブスタイル・かながわ」などにおけるキャリアカウンセリング（若年者 延べ13,626人、中高年齢者 延べ5,782人）
- ・ 障がい者の就業・職場定着支援
  - 障害者就労相談センターなどによる就業支援（就職者数389人）

### ③ ワーク・ライフ・バランスの推進

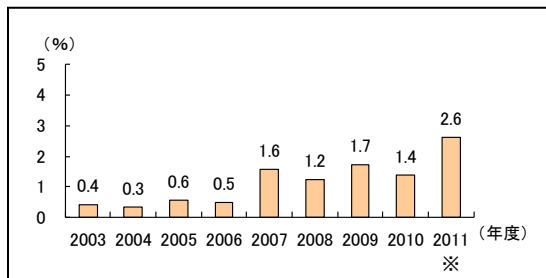
- ・ 中小企業への導入支援、普及啓発の実施
  - ワーキングマザー両立応援カウンセリング（相談者数116人）

## 県民ニーズの動向

「職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること」を重要だと思う人の割合（県民重要度） ⇒ 82.8%

## その他社会環境を表す指標

### ◆ 男性の育児休業取得率の推移（厚生労働省「雇用均等基本調査」）



- ・ 男性の育児休業取得率は、直近10年間をみると、上昇傾向にあります。（※2011年の比率は岩手県、宮城県及び福島県を除く）
- ・ これにより、育児に積極的に参加する男性が増えていることが分かります。
- ・ しかしながら、女性と比較すると、男性の取得率はまだ非常に低いものとなっています。

## 主な取組みや統計データに関する情報

- ・ 県立職業技術校とは  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f368/>
- ・ (公財) 神奈川科学技術アカデミー (KAST) 教育情報センター  
<http://www.newkast.or.jp/kyouiku/index.html>
- ・ かながわ総合しごと館スマイルワーク  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420325/>
- ・ かながわ若者就職支援センター  
<http://www.kanagawa-wakamono.jp/>
- ・ シニア・ジョブスタイル・かながわ  
<http://park10.wakwak.com/~s-jobsta/>
- ・ 障害者の就業支援  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6949/>
- ・ 労働力調査  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6778/>
- ・ 厚生労働省 雇用均等基本調査  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-23.html>

## 総合分析

### プロジェクト全体としては、概ね順調に進んでいます。

- ・ 職業技術校生の修了1年後の就職率は、目標を達成しました。
- ・ かながわ若者就職支援センターで就業支援を受けた人の進路決定者数は、目標値をわずかに下回りました。
- ・ 障がい者の雇用率は目標値をわずかに下回りましたが、着実に上昇しています。
- ・ 西部総合職業技術校の整備は完了し、また、科学技術人材の育成も着実に進んでいます。
- ・ 職業相談や職業訓練に関する県民重要度は、高い状況にあります。
- ・ 男性の育児休業取得率は上昇傾向ですが、さらなる労働環境の整備が望まれます。

⇒ 数値目標は3項目中2項目で達成できませんでしたが、産業を支える人材の育成が着実に進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。

## 今後の課題と対応方向

### 👉 産業を支える人材の育成

- ・ 技術革新による企業ニーズの変化に対応した訓練の実施が課題  
→ 変化する企業ニーズをより広範かつ迅速に把握、訓練内容の継続的な見直し

### 👉 一人ひとりの希望に応じた就業の促進

- ・ 若年者、中高年齢者、障がい者等の希望に応じた、さらなる就業の促進が課題  
→ キャリアカウンセリングの充実、企業に対する障がい者雇用の働きかけの強化

### 👉 誰もが働きやすい環境づくり

- ・ 「安心して働ける環境づくり」と「企業の人材流出リスクの軽減」の実現に向けたパワハラなどの防止が課題  
→ 労働相談の充実、パワハラ対策などの普及啓発の強化

## 総合計画審議会の二次評価



### 概ね順調に進んでいます

- ・ 若年層の就職状況が厳しい中、職業訓練や学校教育などに積極的に取り組み、働きたい若者の雇用を促進する必要があります。





## プロジェクト25 神奈川を世界にアピールする国際戦略

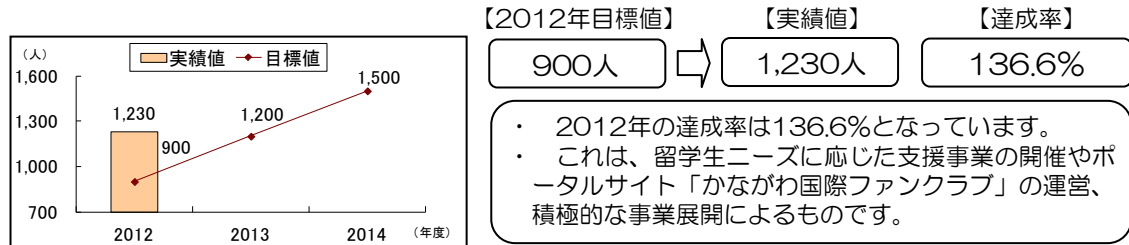
産 政 民 保

## プロジェクトのねらい

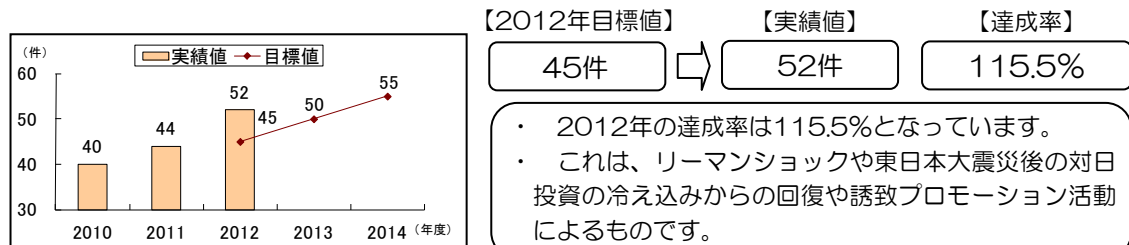
- 👉 グローバルな人材を生かした国際競争力の向上
- 👉 海外から人や企業を神奈川に引きつける

## 数値目標の達成状況

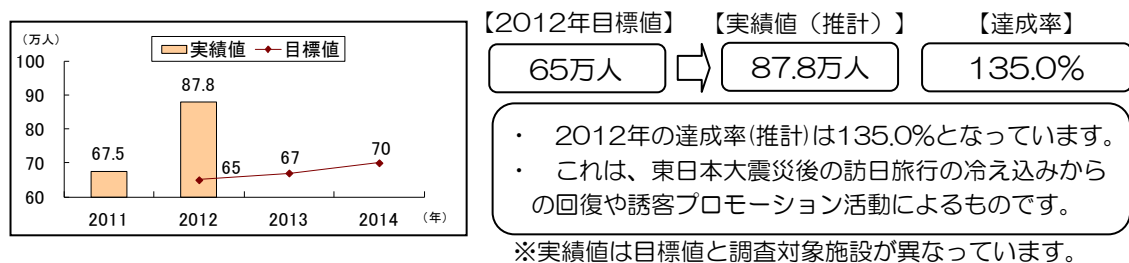
## ◆ 「かながわ国際ファンクラブ」の会員数 (国際課調査)



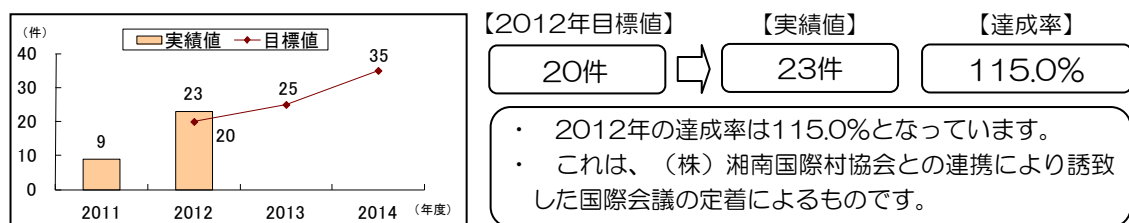
## ◆ 外国企業の誘致件数 (累計) (産業立地課調査)



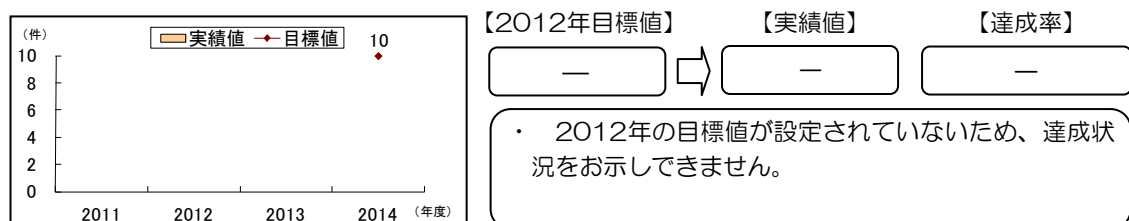
## ◆ 外国人宿泊者数 (暦年) (観光庁宿泊旅行統計調査)



## ◆ 湘南国際村での国際会議や国際交流イベントなどの開催件数 (地域政策課調査)



## ◆ 国際戦略総合特区における外部からの新たな研究開発受注品目数 (国際戦略総合特区推進課調査)



## 2012年度の主な取組みと成果

### ① 神奈川の特徴を生かした国際交流の推進

- ・ 神奈川ゆかりの外国人などをネットワーク化する「かながわ国際ファンクラブ」の結成
  - 「かながわ国際ファンクラブ」を結成し、KANAFAN交流会などを開催（2回）
- ・ 大学やNPO、企業と連携した留学生などへの支援機能の整備
  - 留学生支援拠点「かながわ国際ファンクラブ KANAFAN STATION」のプレオープン
  - EPA看護師・介護福祉士国家試験対策講座の充実
- ・ 国際会議やイベントの誘致、友好交流先を中心とした国際交流の推進
  - 湘南国際村での国際会議や国際交流イベントを開催（23件）
  - 三県省道（神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道）スポーツ交流事業の実施（1回）

### ② 県内企業の海外展開支援と外国企業の誘致

- ・ 中小企業の海外事業展開に向けた支援
  - 民間金融機関などと「県内中小企業の海外展開支援に関する協定」を締結
  - 国別投資環境や海外進出セミナーの開催（6回）、商品モニタリング調査、県内企業PR冊子の作成
- ・ 海外プロモーションなどによる外国企業の誘致
  - 現地ビジネスセミナーや展示会における個別企業面談など、誘致プロモーション活動の展開

### ③ 外国人観光客の誘客促進

- ・ 海外での観光プロモーションなどによる外国人観光客の誘客
  - 海外での観光展、海外からの旅行会社、メディアなどの招聘（8回）

### ④ 国際戦略総合特区を活用した拠点形成

- ・ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区による国際戦略拠点の形成
  - 殿町区域で「川崎生命科学・環境研究センター（L i S E（ライズ）」が開設
  - （財）神奈川科学技術アカデミー（KAST）が拠点の一部を殿町区域へ設置
  - 民間企業等が国の認定を受けた特区計画（変更）にもとづき取組みを展開
  - みなとみらい区域でバイオジャパンへの出展など、総合特区の取組みを情報発信

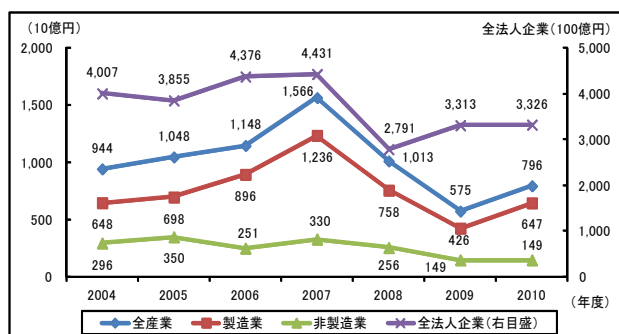
## 県民ニーズの動向

「民間の国際交流・協力活動が活発であること」を重要だと思う人の割合（県民重要度） ⇒ 39.7%

「国内外から工場や研究機関など多くの企業が県内に誘致され、働く場所が増えること」を重要だと思う人の割合（県民重要度） ⇒ 67.5%

## その他社会環境を表す指標

### ◆ 外資系企業の国内での設備投資額（金融・保険業、不動産業を除く） （経済産業省「外資系企業動向調査」）



- ・ 設備投資額は、2007年度をピークに、減少が続いていましたが、2010年度は増加に転じました。
- ・ これは、2008年のリーマンショックを契機とした世界的な景気後退と、その後の緩やかな世界経済の回復などによるものです。

※全法人企業：国内の株式会社等（金融・保険業を除く）による設備投資額（出典：法人企業統計（財務省））

## 主な取組みや統計データに関する情報

- ・ かながわ国際ファンクラブ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f417340/>
- ・ 湘南国際村  
<http://www.shonan-village.jp/>
- ・ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の実現に向けた取組み  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p432252.html>
- ・ (公財) 神奈川科学技術アカデミー (KAST)  
<http://www.newkast.or.jp/>
- ・ 経済産業省 外資系企業動向調査  
<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/gaisikei/>

## 総合分析

### プロジェクト全体としては、順調に進んでいます。

- ・ 数値目標は、全ての項目について目標を達成しました。
- ・ 国際戦略総合特区による国際戦略拠点の形成などに、着実に取り組んでいます。
- ・ 企業誘致による雇用機会の拡大に関する県民重要度は、高い状況にあります。
- ・ 外資系企業の対日投資は、世界経済情勢に大きく影響を受けており、状況に応じた柔軟な対応が求められています。

⇒ 全ての項目で数値目標を達成するなど、プロジェクトは順調に進んでいます。

## 今後の課題と対応方向

### ♪ グローバルな人材を生かした国際競争力の向上

- ・ 日本人留学生数の減少、日本の若者の内向き志向への対応などが課題  
→ 神奈川の若者を対象に、青少年国際セミナーや留学応援セミナーを実施
- ・ 県内中小企業の海外での事業展開に当たっての現地情報やノウハウの不足が課題  
→ 民間企業や関係機関等との連携による、きめ細かな海外展開支援を実施
- ・ ライフサイエンス産業の海外展開支援のための的確な情報提供が課題  
→ ライフサイエンス産業に関する諸外国のビジネス事情や市場ニーズ調査を実施

### ♪ 海外から人や企業を神奈川に引きつける

- ・ 「かながわ国際ファンクラブ」を通じた、さらなる神奈川の魅力発信が課題  
→ 会員による神奈川の魅力紹介等、ファンクラブのポータルサイトを一層充実
- ・ E P A 看護師等候補者受入機関の負担軽減が課題  
→ 国家試験対策講座を充実させ、受入病院・施設を支援
- ・ 新たな国際会議の誘致が課題  
→ (株) 湘南国際村協会と連携し、N I I 湘南会議の開催と新たな国際会議の誘致を一層促進
- ・ 外国企業の誘致促進が課題  
→ 立地促進助成金の活用など外国企業誘致プロモーション活動を一層強化
- ・ 国や地域の特性に応じた外国人観光客の誘客促進が課題  
→ 市場動向やニーズを捉えた観光プロモーションにより外国人観光客を誘客
- ・ ライフサイエンス分野の拠点形成についての海外の研究者・企業などに対するより一層のPRが課題  
→ 国内最大級のバイオ産業展示会「バイオジャパン」での展示やセミナーの開催

## 総合計画審議会の二次評価



### 順調に進んでいます

- ・ ソーシャルメディアなどを広く活用して神奈川の魅力を発信することにより、神奈川の認知度を高める必要があります。
- ・ 東南アジア、南アジア、アフリカなどとの連携や人材交流も進めていく必要があります。



## プロジェクト26 神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開

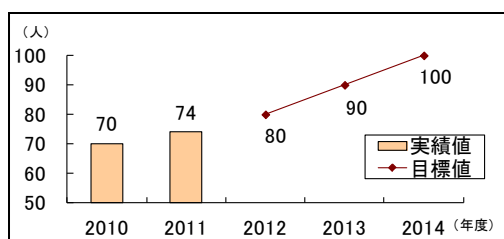
環 産

## プロジェクトのねらい

- 👉 農林水産資源の利活用による地域活性化
- 👉 活力ある森林づくり
- 👉 水産資源の豊かな海づくり

## 数値目標の達成状況

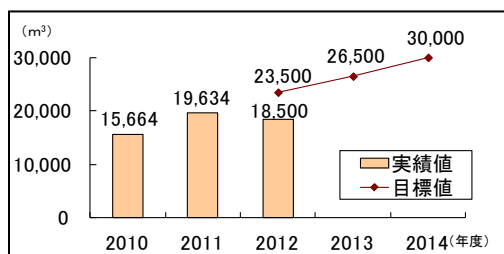
## ◆ 農林水産業への新たな就業者数 (担い手支援課、森林再生課、水産課調査)



【2012年目標値】	【実績値】	【達成率】
80人	—	—

- ・ 2012年の実績値は2013年8月に把握予定です。
- ・ なお、2011年の実績値は着実に増加しています。

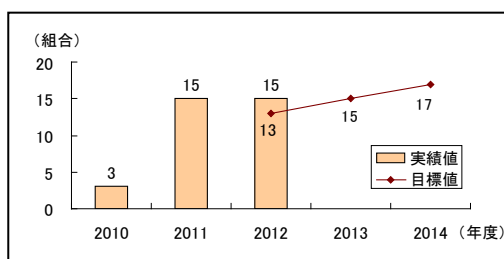
## ◆ 県内産の木材生産量(スギ・ヒノキ)の増加 (森林再生課調査)



【2012年目標値】	【実績値(推計)】	【達成率】
23,500m³	18,500m³	78.7%

- ・ 2012年の達成率(推計)は78.7%となっています。
- ・ これは、年度末に木材搬出が集中し、原木市場の受入れが滞ったことによるものです。

## ◆ 資源管理計画を策定した漁業協同組合数(累計) (水産課調査)



【2012年目標値】	【実績値】	【達成率】
13組合	15組合	115.3%

- ・ 2012年の達成率は115.3%となっています。
- ・ これは、漁業者の資源管理や漁業経営安定対策制度への関心が高かったことによるものです。

## 2012年度の主な取組みと成果

## ① 県民の求める「食」の提供の推進

- ・ 新たな地産地消のしくみづくり
  - 県民ニーズに応じた生産を目指す「マッチング商談会」の開催(成立数26件)
  - セミナーによる生産者と商工業者の連携に向けた理解促進(参加者満足度約8割)
  - 鎌倉地区をモデルに地魚販売の検討会を開催し、スーパーと協議(検討会4回)
- ・ 農業への新規参入の支援
  - 就農相談の実施(318件)、青年就農給付金の給付(40人)

## ② 県産木材の有効活用の促進

- ・ 県産木材の生産の促進
  - 高性能林業機械導入（7件助成）などによる森林施業の効率化
- ・ 新たな流通のしくみづくり等による県産木材（素材・製品）の安定供給
  - 県産木材の流通を円滑に進めるコーディネーターの育成と製品取扱い店の増加

## ③ 水産資源の回復と有効利用の促進

- ・ つくり育てる漁業（栽培漁業）の推進
  - ヒラメの漁獲量に応じ種苗放流量を追加する新たな栽培漁業の推進体制の構築
- ・ 守り育てる漁業（資源管理型漁業）の推進
  - 県内漁協24組合中15組合が資源管理計画を策定し、資源管理を実施

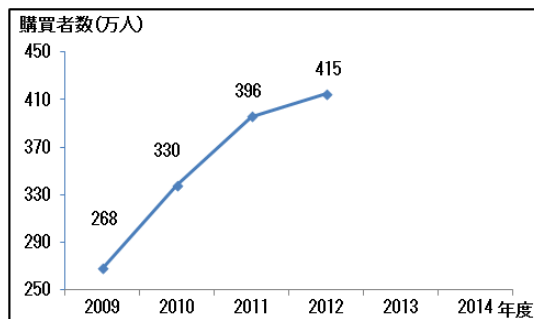
## 県民ニーズの動向

「地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること」を重要だと思う人の割合（県民重要度） ⇒ 74.8%  
(48項目中28位)

「県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい」と思う人の割合 ⇒ 84.9%  
(39項目中6位)

## その他社会環境を表す指標

### ◆ 大型直売センター購買者数の推移（農業振興課調査）



- ・ 大型直売センターの購買者数（レジ通過人数）は、2009年度268万人、2010年度330万人、2011年度396万人、2012年度415万人と県民ニーズを反映して、増加しています。

## 主な取組みや統計データに関する情報

- ・ かながわの地産地消  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6914/>
- ・ 担い手支援課 ホームページ（新規就農）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/O508/>
- ・ かながわ県産木材について  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f417247/>
- ・ 水産課 ホームページ（資源管理・栽培漁業など）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/O511/>
- ・ わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業（統計データ、かながわブランドなど）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6572/>

## 総合分析

### プロジェクト全体としては、概ね順調に進んでいます。

- ・ 農林水産業への新たな就業者数については、2012年度の実績値が未把握ですが、2011年度までの実績は着実に増加しています。
- ・ 地元で取れた新鮮な野菜への県民の関心は高く、県内の農産物の供給量を維持するためには新規就農者や新規参入者等の確保が求められています。
- ・ 商談会や検討会で生産者と消費者等に新たな結びつきが生まれ、県産農水産物の利用拡大が進んでいます。また、セミナー等により農商工等連携の普及が進んでいます。
- ・ 県内産の木材生産量は、年度末に木材搬出が集中し原木市場の受入れが滞ったことから目標値を下回りましたが、県産木材の利用に対する県民ニーズは高くなっています。
- ・ 資源管理計画を策定した漁協数は増加し、目標を達成しましたが、東京湾のシャコ、マコガレイや三浦半島のアワビなど、水産資源の漁獲は低迷しています。地元で取れた新鮮な魚への県民の関心は高く、地場産水産物の安定的な供給が必要です。

⇒ 数値目標は3項目中1項目で達成できませんでしたが、農林水産業への就業者数が着実に増加しているなか、地元でとれた新鮮な県産農水産物への県民の関心は高く、利用拡大や農商工連携の動きも見られており、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。

## 今後の課題と対応方向

### ♪ 農林水産資源の利活用による地域活性化

- ・ 新たな地域ブランドの開発、地産地消のしくみの展開が課題
  - 地域独自の農水産品の発掘等の実施、おいしく安全な県産和牛肉提供のためのブランド力強化支援、セミナー等による農商工連携の促進、漁獲量の安定化と販売の実践
- ・ 農林水産業の中核を担う意欲ある担い手の育成強化が課題
  - かながわ農業アカデミーの教育内容と教育環境の充実強化

### ♪ 活力ある森林づくり

- ・ 県産木材の計画的な生産
  - 計画的な木材生産の推進、切り出した木材の工場への直送、県産木材のPRの推進

### ♪ 水産資源の豊かな海づくり

- ・ つくり育てる漁業（栽培漁業）のさらなる推進が課題
  - 資源の増加を目指して漁協が行う種苗放流の拡充強化への支援、ヒラメ栽培漁業の推進体制の充実、ニーズの高いトラフグやナマコの種苗生産などの栽培技術開発
- ・ 守り育てる漁業（資源管理型漁業）のさらなる推進が課題
  - 全ての漁協において資源管理計画を策定し、計画的な資源の回復と管理を推進  
資源の回復や管理に必要な調査の実施

## 総合計画審議会の二次評価



### 概ね順調に進んでいます

- ・ 中核的な担い手の確保を進めるとともに、神奈川の強みを活かすため、地産地消のPRなどを通じて、幅広く農林水産業への理解や協力を求める取組みもさらに強化していく必要があります。





## プロジェクト27 活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実

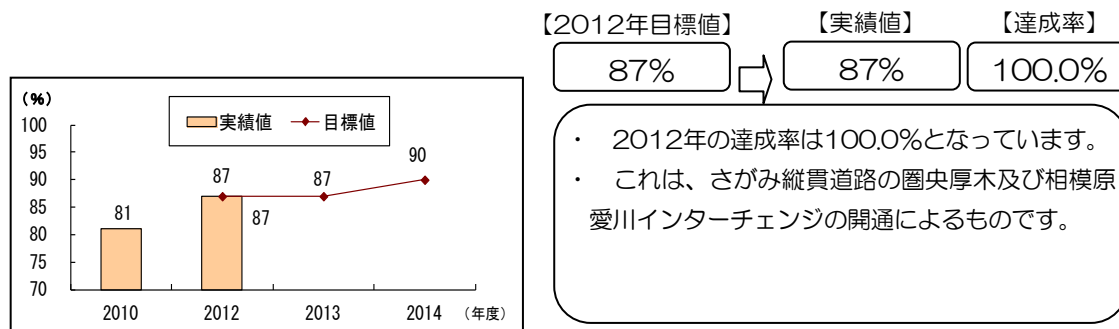
土 政 保 産

## プロジェクトのねらい

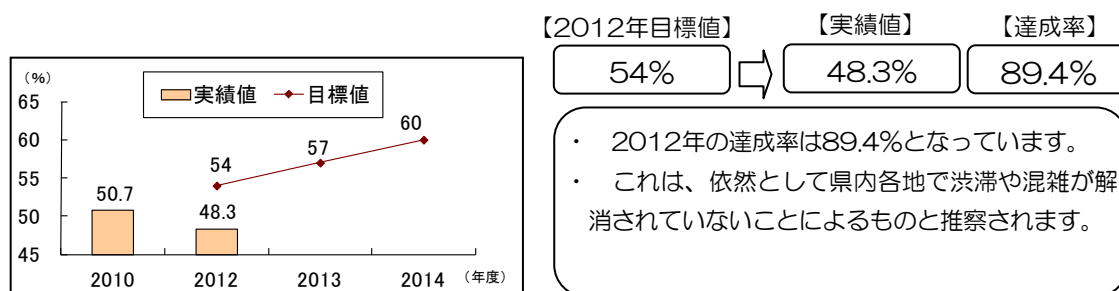
- 👉 活力と魅力ある県土の形成
- 👉 交流と連携を支える交通ネットワークの充実

## 数値目標の達成状況

## ◆ インターチェンジまでの距離5 km以内の地域の割合 (道路企画課調査)



## ◆ 「通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」に関する県民意識 (県民ニーズ調査)



## 2012年度の主な取組みと成果

## ① 交流と連携を支える道路網の整備

- ・ 自動車専用道路網の整備 (さがみ縦貫道路、新東名高速道路、厚木秦野道路、(仮称)綾瀬インターチェンジなど)
  - さがみ縦貫道路の一部区間開通 (海老名IC～相模原愛川IC、茅ヶ崎JCT～寒川北IC)
- ・ インターチェンジ接続道路や交流幹線道路網の整備及び地域分断・交通のボトルネックの解消
  - 国道134号 (高浜台交差点以西) 4車線部分供用 (2012年10月)
  - 県道藤沢座間厚木 (中津川大橋) 4車線供用 (2013年3月)

## ② 交流と連携を支える鉄道網の整備

- ・ 神奈川東部方面線などの整備促進
  - 相鉄・JR直通線の整備促進、相鉄・東急直通線の都市計画決定 (2012年10月)
  - 京急蒲田駅高架化完成 (2012年10月)
- ・ リニア中央新幹線の建設促進と県内駅設置、東海道新幹線新駅の設置、JR相模線複線化等の促進
  - 鉄道事業者等への要望活動を実施 (リニア中央新幹線3回、東海道新幹線3回、JR相模線1回)

### ③ 国際競争力の強化に向けた空港政策の充実

- ・ 羽田空港の国際線機能の一層の充実、羽田・成田リニア構想の推進
  - 首都圏空港政策の充実に向けた国への要望活動を実施（2回）  
羽田空港における国際線就航路線の拡大
- ・ 羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進、空港周辺アクセスの整備促進
  - 総合特区の取組みと連携し国や周辺自治体とまちづくり等に関する検討を実施

### ④ 魅力あるまちづくりの推進

- ・ 環境共生モデル都市ツインシティの整備や県央・湘南都市圏における環境共生の取組みの推進
  - ツインシティの整備に向けて地元市町と事業実施に関する各種調査・設計を実施
- ・ 地域の特色を生かしたまちづくりの推進
  - 商店街の活性化を意欲的に進める商店街の地域ブランドづくりへの支援
  - 色づかいに配慮した案内板の設置や路面への着色など、カラーバリアフリーモデル事業を実施

## 県民ニーズの動向

「神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」と思う人の割合 ⇒ 88.3%

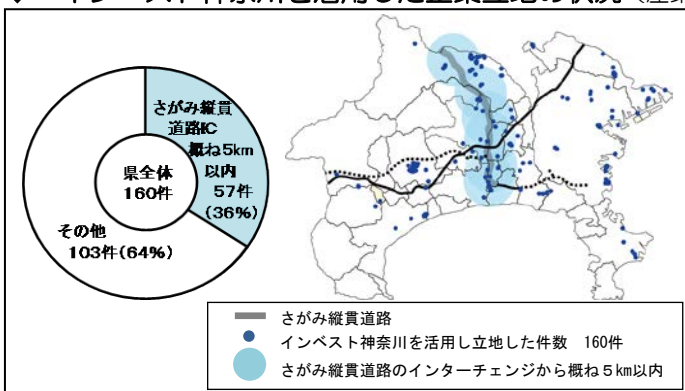
「県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ」と思う人の割合 ⇒ 55.5%

「今後10年くらいの間、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている」と思う人の割合 ⇒ 55.0%

「自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること」に満足している人の割合（県民満足度） ⇒ 18.3%

## その他社会環境を表す指標

### ◆ インベスト神奈川を活用した企業立地の状況（産業立地課の立地企業一覧より作成）



- ・ インベスト神奈川※を活用した企業の約36%がさがみ縦貫道路沿線に立地しています。
- ・ これにより、自動車専用道路の沿線への企業立地が進んでいることがわかります。

※インベスト神奈川（施設整備等助成制度、産業集積促進融資）及びインベスト神奈川2ndステップ（産業集積支援事業認定制度）を対象

## 主な取組みや統計データに関する情報

- ・ かながわの道路事業に関する情報提供  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f430242/>
- ・ 鉄道網の整備促進（交通企画課HP）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/O716/>
- ・ 京浜臨海部の産業の活性化と新しいまちづくりの推進  
<http://www.pref.kanagawa.jp/life/6/27/142/>
- ・ 環境共生モデル都市圏の形成  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/O715/>

## 総合分析

プロジェクト全体としては、概ね順調に進んでいます。

- ・ インターチェンジまでの5km以内の地域の割合は、着実に増加し目標を達成しました。
- ・ 日常生活の交通の便がよいことに関する県民意識については、目標値を下回りました。
- ・ 道路・鉄道網の整備、空港政策の充実、魅力あるまちづくりの取組みは着実に進められています。
- ・ 県内では交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だと思ふ人の割合は、依然多い状況です。
- ・ 地域の特性を生かしたまちづくりについての満足度は、低い状況です。
- ・ 自動車専用道路の沿線への企業立地が進んでいます。

⇒ 数値目標は2項目中1項目で達成しており、道路・鉄道網の整備が着実に進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。

## 今後の課題と対応方向

### ♪ 活力と魅力ある県土の形成

- ・ 地域の特色を生かしたまちづくりが課題
  - 国や周辺自治体と連携し、羽田空港の国際化を活かしたまちづくりを推進
  - 環境共生モデル都市ツインシティの魅力あるまちづくりに向けた取組みを推進

### ♪ 交流と連携を支える交通ネットワークの充実

- ・ 産業経済活動や県民生活を支える交通基盤のさらなる整備促進が課題
  - 法人二税の超過課税を活用し、自動車専用道路網等の整備を着実に推進
  - 神奈川東部方面線の整備やリニア中央新幹線の建設等に向けた取組みを推進

## 総合計画審議会の二次評価



**概ね順調に進んでいます**

- ・ 総合的な交通ネットワークの形成と地域の特性を生かしたまちづくりの連携に留意し、誰もが住みやすいゆとりと魅力ある県土づくりを進める必要があります。